

# 不当弾圧粉碎！権利奪還！当局の敵対はねのけ たたかいを展開する基礎固める！



87. 6. 5

No. 2568

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二七二〇七

## 幕張支部第五回検査・検修分科総会開催(5.29)

幕張支部検査・検修分科会は、五月二十九日、当局の敵対をうち破って第五回総会を大成功のうちにかちとり、反撃の第一歩を踏み出した。

### たたかう基礎を固める

総会は、滝口、永嶋両君に対する千葉西署の逮捕策動の渦中でかちとられたものであり、総会の大成功は不当弾圧粉碎、権利奪還のたたかいを大きく展開するための基礎をうち固めた。

十八時二〇分、動力車会館ホールは出席者で満員となった。

寺本副会長の開会宣言が力強く行われた後、永嶋委員より、八七名の出席が確認され、総会の成立が宣言された。

議長には吉野君を選出し、議事が進められた。

### 団結をさらにうち固め闘う ― 宇田川会長あいさつ ―

まず、あいさつにたった宇田川会長は、「分割・民営化という経験したことのない試練を皆の団結で突破してきた。動労千葉の方針の正しさを確認し、不当解雇された二八名、清算事業団に送られた十二名、さらに無人駅や営業、売店に出されている仲間達を奪い返し、団結をさらにうち固め、鉄道労連を解体しよう。今後とも闘いぬこう」と全員に訴えた。また、当局・動労革マル一体となった

差別・選別攻撃の中で、不当にも清算事業団に送られた林氏からは「皆さんの先頭で不屈に闘い続け、原職復帰を必ずかちとる」と力強い決意が明らかにされた。スクラムを組み最先頭でたたかう

その後、伊藤事務長から財政が提起され、一活討論に入った。

① 会社当局のデタラメなやり方は許せない。特に点呼の時、「安全綱領」を一人ずつ前に出してやらせているのは人権にもかかわる。中止させるべきだ。

② 労働協約・協定についての反論を日刊等で明らかにし、協約・協定の不当性を暴露してほしい。

③ 共同購入運動の取り組みについて、などが出され、当局の不当な攻撃に対して全体で反撃していくことが確認された。幕張支部検査・検修分科は、二八名の解雇された仲間、清算事業団の仲間、営業や売店に出された仲間、さらに、貨物の仲間達と固くスクラムを組み、最先頭で闘う決意である。

（幕張支部通信員発）

### 「イヤガラセをするな」

いま、営業へ強制配転された仲間は、歯を喰いしばってたたかっている。

A 駅では初日から「お前は局での座学の時、授業中にメシを食っただろう」と駅長がいいがかりをつけ、組合員 B 君は、「フザケルな！休み時間にメシを食ってなぜ悪い」と事実を告げ、

### 営業の仲間、歯を喰いしばり頑張りな！

「業務に関係ないことでイヤガラセをするな」と反撃した。

運転のようにたたかう組合が存在しないため「駅長の言うことなら白いものも黒い」ということがまかり通る職場の中でがんばっている仲間を支え、くやしさを共有してたたかおう！